

西松浦地区合併協議会 議事録

(第十八回)

日時：平成18年 2月16日
会場：焱の博記念堂 2階会議室

開 会 (15時 00分)

○事務局長 (福島 清人)

みなさん、こんにちは。

定刻になりましたので、ただ今より、第18回の合併協議会を開催させていただきます。

今回の会議が、合併協議会で最後の会議になろうかと思えます。

会議を始めます前に、本日の資料の確認をお願い致します。

資料は、本日の会議次第と、別冊資料の2点のみでございます。

それでは、初めに会長にご挨拶いただき、引き続き、会の進行をよろしくお願い致します。

○会長 (岩永 正太)

みなさん、こんにちは。

本日も、大変お忙しい中に、第十八回、そして、最終回となります、西松浦地区合併協議会にご出席を頂き、誠に有難うございます。

平成十六年九月十七日に、任意合併協議会を立ち上げて、五回の会議を開き、同年十一月十五日に法定合併協議会を設置して、これまで、十七回の会議を開いて参りました。

その間、委員の皆様には、多岐にわたる調整項目につきまして、熱心に議論をして頂き、いずれの項目についても、全会一致で結論を得ることが出来ました。ほんとに、有り難く思っております。

これも、ひとえに委員の皆様はじめ、両町議会、地域の皆さんの、真摯な取り組みの賜と、改めてお礼を申し上げる次第でございます。

いよいよ、三月一日の合併も、目前に迫って参りましたが、滞りなく合併当日を迎えられるよう、事務方も大変な作業を進めております。

皆様には、今後とも、新有田町のため、変わらぬご指導と、ご協力を賜りますように、お願いを申し上げて、ご挨拶とさせていただきます。

ほんとに、有難うございました。

○議長 (岩永 正太)

それでは、早速、会議に入りたいと思います。

ただ今の出席委員は16名でございます。定足数に達しておりますので、第18回西松浦地区合併協議会を開催させていただきます。

審議に先だち、本日の議事録署名委員と致しまして、有田の蒲地委員さんと、西有田の岩崎委員さんの、お二人にお願い申し上げたいと思いますが、よろしゅうございますでしょうか。

はい。

それでは、議題に入らせて頂きます。

最初、報告第1号、第24回の幹事会の会議概要について、江崎幹事長から報告を、お願いします。

○幹事長 (江崎 幹夫)

報告第1号。

第24回幹事会における協議等の結果について、ご報告をさせていただきます。

平成18年2月10日に、第24回幹事会を開催し、協議及び調整を行いましたので、西松浦地区合併協議会幹事会規程第6条の規定により、報告をさせていただきます。

(1) 第18回協議会協議事項等について

確認事項でございます。

第18回協議会の協議事項等について、協議・調整を行いました。

(2) その他協議事項につきまして

確認事項 引っ越し業務、合併当日のスケジュール等について、協議・調整を行なったところでございます。

以上でございます。

○議長（ 岩永 正太 ）

ただ今、江崎幹事長から、幹事会概要の報告がありました。このことについて、何かご質問等ございませんか。

はい。

意見もないようですので、幹事会概要の報告については、了承されたものと致します。

次に、報告第2号の、西松浦地区合併協議会決算見込みについて、事務局から報告をお願いします。

○事務局員（ 田中 祐輔 ）

それでは、資料は、別紙、平成17年度西松浦地区合併協議会歳入歳出決算見込書を、ご覧下さい。まず、1ページをご覧下さい。

まず、歳入について、説明させていただきます。

まず、負担金。これは、有田町、西有田町からの負担金ですが、10,937,000円の予算に対し、10,937,000円の収入済み、となっております。

次に、繰越金。これは、16年度会計からの繰越しになりますが、1,321,000円の予算に対し、1,320,105円の収入済み、となっております。

次に、諸収入。通帳の預金利子等になりますが、これは、2,000円の予算に対し、44円の収入済みとなっております。

歳入合計と致しまして、12,260,000円の予算に対し、12,257,149円の収入済みとなっております。

次に、歳出の説明をさせていただきます。

まず、運営費。これは、会議室使用料、会議録の作成委託料、電話代等の役務費になります。

7,149,000円の予算に対し、6,419,248円の支出見込額。729,752円の不用見込額となっております。

次に、事業費。これは、例規整備委託や協議会だより等の作成となっております。

5,013,000円の予算に対し、4,498,496円の支出見込額。514,504円の不用見込額となっております。

次に、予備費。これは、98,000円の予算に対し、支出はしておりません。

歳出合計と致しまして、12,260,000円の予算に対し、10,917,744円の支出見込額。1,342,256円の不用見込額となっております。

次に、2ページをご覧下さい。

歳入歳出差引残見込額と致しまして、1,339,405円の見込となっております。

これが、新町に繰り入れということになります。

3ページ以降は、それぞれの明細書となっております。

以上です。

○議長（ 岩永 正太 ）

はい。

只今、報告がありましたけれども、何か、ご質問等ございませんか？

どうでしょうか？

よろしゅうございますか？

はい。

それでは、ご質問も無いようでございますので、西松浦地区合併協議会決算見込については、了承されたものと致します。

次に、報告第3号の西松浦地区合併協議会の廃止について、事務局から説明をお願いします。

○事務局次長（大串 学）

それでは、会議資料の3ページをお願いします。

報告第3号。西松浦地区合併協議会の廃止についてでございますが、昨年12月に両町議会で、議決を頂いております。

内容が、地方自治法、第252条の6の規定により、平成18年2月28日限りで、西松浦地区合併協議会を廃止するものと致します。

以上、報告を終わります。

○議長（岩永 正太）

それでは、このことについて、何か、ご質問ございませんか？

<なし>の声あり

はい。

無いようですので、西松浦地区合併協議会の廃止については、了承されたものと致します。

次に、調整経過の報告に移らせて頂きます。

調整経過報告第8号。

「公共的団体の取扱い」につきましては、事務局より報告を致します。

○事務局員（千代田 一茂）

資料は、4ページをお願い致します。

調整経過報告第8号。

「公共的団体の取扱い」の経過報告ということで、報告をさせていただきます。

「公共的団体の取扱い」につきましては、第1回協議会の折に、公共的団体等については、新町の速やかな一体性を確保するため、各団体の実情を尊重しながら、統合整備に努めるものとする。ということで確認を致しております。

現在の取り組み状態につきましては、5ページをお願い致します。

5ページ、6ページにわたりまして、主な、公共的団体の、現在の取り組み状況を、明記致しております。

基本的に、ほとんどの団体が、統合に向けて、現在準備を進められている、と言った状況でございますけれども、細部にわたっては、これからの調整であるとか、合併後に検討を行うといったものも含まれております。

上の方より、説明をしてまいります。

まず、生涯学習関係の中で、婦人会についてですけれども、婦人会につきましては、3月1日より、有田町婦人会ということで、組織につきましては、旧西有田町婦人会を基本に、合併後、新町全域の組織を検討する、といったことで、現在調整がなされているといった状況です。

続きまして、子どもクラブ連絡協議会。これにつきましては、3月1日より、有田町子どもクラブ連絡協議会ということで、事務所を、生涯学習センター内の教育委員会の中に置く、ということになっております。

同じく、文化協会。これにつきましても、3月1日より、有田町文化協会ということで、事務所を、

生涯学習センターの教育委員会内に置く、といった調整になっておるようです。

続きまして、体育協会。3月1日より、有田町体育協会ということで、事務所は、生涯学習センターの教育委員会内ということで、組織につきましては、新町体育協会傘下に、有田東支部、西支部を置くということで、各種目協会については、平成20年を目途に統合する、といった調整がなされております。

続きまして、福祉関係で、民生委員児童委員連絡協議会。これにつきましては、3月1日より、有田町民生委員児童委員連絡協議会ということです。

続きまして、遺族会。遺族会につきましては、合併前の組織で活動、といったことで、合併後、それぞれ代表者を選出して協議を行っていくという調整になっております。

続きまして、社会福祉協議会。3月1日より、有田町社会福祉協議会。

同じく、老人クラブ連絡協議会。これにつきましては、4月1日より、有田町老人クラブ連絡協議会ということで、事務所は、生涯学習センターの3階に置くということで、組織は合併前の両町に、支部を置くといった調整が、現在なされております。

それから、身体障害者団体連合会。これにつきましては、3月1日より、有田町身体障害者福祉協会という、調整になっております。

6ページをお願い致します。

保健関係で、食生活改善推進連絡協議会、母子保健推進協議会は、共に、3月1日より、有田町食生活改善推進連絡協議会、有田町母子保健推進協議会、ということで、事務所は共に、福祉保健センターの健康福祉課内に置く、という調整がなされております。

続きまして、シルバー人材センター。これにつきましては、3月1日より、有田町シルバー人材センター、ということで、両町のシルバー人材センターを一つに統合し、社会福祉協議会の事業として継続をする、といったことで、事務所については、現在使用されている、いちよう保育園、それと婦人の家を使用し、組織等については、現在調整中のようです。

それから、商工関係で、西有田商工振興会は、当分の間、西有田地区の地域振興活動を中心に行うよう調整中ということになっております。

それから、防犯協会ですけれども、3月1日より有田町防犯協会、ということで、事務局は、総務課内に置く、といった調整が現在なされております。

以上です。

○議長（岩永 正太）

はい。何か、これについても、ご質問等、ございませんか？

どうぞ、久保田委員さん。

○3号委員（久保田 勉）

遺族会につきましては、少し、補足説明をしたいと思えます。

3月になりますと、各集落において、役員の変更、あるいは、世話人の改選等が行われてまいります。

遺族会につきましては、現在のところ、兄弟が主体となって、本当にお骨折りを頂きながら運営を頂いておりますけれども、今後は、やはり遺児が中心となって、遺族会、その他のまつりごとについては、責任を持っていくことが、遺児の使命ではなかろうかと思えます。

そういったことで、合併後、速やかにということは行きませんが、各地域の、遺児の皆さん方の、合同話し合いによって、今後の展望が開かれていくのではなかろうか、ということで、今、有田町の会長さんとも、話を進めているところであります。

なお、県下の合併に伴う状況について、二、三、報告を致します。

東松浦郡につきましては、玄海町だけが残った訳でありますけれども、新唐津市においては、旧町村単位で、追悼式は行っていくと、決定をされたようでございます。

なお、武雄市におきましては、文化会館が出来ました当時、そこで、合同で行われておったようでございますけれども、年々、参加者、お参りの方が少なくなったということで、今から、二十数年前、元の、旧七町村村ですか？ によって、おのおの、追悼式を行うことによって、本当に参加者が多くなったということで、現在は、それを続けているということです。

なお、今後また二町と合併して、新市が生まれますけれども、それについても、今の状況で、そのまま、継続していくように話し合いが決まりましたという、遺族会会長のお話でございました。

なお、伊万里市につきましては、市民会館において、合同で、今なされておりますが、私も、毎年招待を頂き、お参りを致しておりますけれども、来賓の方に比べまして、ほんとに遺族会そのものの参加が少ないなあと、いつも感じております。

何を申しましても、戦後61年を過ぎた今日でありますので、非常に、あの悲惨な出来事も、遠い昔ではありますが、やはり私達にしますと、英霊の顕彰と世界平和を祈念するということは、大事なことでありますので、本当に、財政厳しい中ではありますけれども、今暫く、本当に、心痛みますけれども、今暫く、継続して、続けて頂きたいという、遺族会一同の大きな願いでございます。

宜しく願いを致します。

○議長（ 岩永 正太 ）

はい。有り難うございました。

何か他に、ご意見、ご質問等ございませんか？

それでは、無いようでございますので、公共的団体の取扱いについては、これから、各団体で調整を行って頂くことと、致したいと思えます。

宜しく、その辺を、皆さんにお願いをしたいと思えます。

それでは、その他の項目について、何か、事務局ありませんか？

はい。

○事務局次長（ 大串 学 ）

資料の、7ページをお願いします。

合併の日のスケジュールについて、若干、お知らせをしたいと思えます。

3月1日ですけれども、まず、7時50分から、東庁舎、現在の有田町役場の方で、開庁式が行われます。

それから、8時20分から、現在の西有田役場、庁舎の方で、開庁式を行うようにしております。

その後、いろんな委員会が、開催される事になっております。

3月1日で、発足しておかなければならない委員会が、開催されるようになっております。

それから、もう皆さんのお宅には届いているかと、思いますけれども、こういったチラシが届いたでしょうか？

合併に伴う、引っ越しについての、お知らせをさせて頂いております。

25日、26日。この土、日で事務所の引っ越しを行うように、計画をしております。

ほとんど、新体制の配置に、引っ越ししてまいりますので、若干、27、28日の月曜日、火曜日あたりで、町民の皆さんに、ご不便をおかけすることもあるかと思えますけれども、宜しく願いしたいと思えます。

以上です。

○議長（ 岩永 正太 ）

はい。
有り難うございました。
何か、これについて、ご質問等、ございませんか？
無いようでしたら、五番目の、その他について。
はい。江碕委員さんから、どうぞ。

○1号議員（ 江碕 幹夫 ）

その他の件で、一つだけ、お願いやら、お話をさせて頂きたいと思いますが、それは、合併特例債の件でございます。
今、有田の内山地区に於きましては、内山地区の活性化のために、ひな祭り等々の事業等で、内山地区の活性化を図っているところでございますが、内山地区には、駐車場、あるいは、施設等、公共の施設等が不足しているところでございます。
そういう意味に於きまして、もし、合併特例債の対象になれば、現有田商工会議所跡地を、内山地区の活性化のための、施設利用として、使用させて頂くために、特例債での対応を、今後お願いしたいということをお話をさせて頂きたいと思います。
以上でございます。

○議長（ 岩永 正太 ）

只今、江碕委員さんから、そういう、ご発言がありました。
これまで、合併特例債については、個々にわたって、いろいろと、皆さん方にご報告は無かったわけですけども、今の事情の中で、有田も色々と、今日の新聞等でも見て頂いていると思いますが、合併を期にして、いろんな事をやっておられるようですので、それに伴った事だというように思います。
そう言うことで、皆さん方、委員さんの一応の了承を、得られれば良いと思います。
いかがでしょうか？ いいでしょうか？
< はい >の声あり
はい。それでは、そういうことで、ご了承を頂きたいというふうに思います。
その他、実は、予定されたいろんなものは、終わったようでございますが、何か、事務局からありますか？
それでは、これで、全協議を終了する訳ですけども、最後に、本日まで、協議会の副会長を務めて頂き、また、合併後も、町長職務執行者として、ご苦労頂きます、篠原町長さんから、ご挨拶を頂きたいと思います。

○副会長（ 篠原 啓一郎 ）

では、一言、ご挨拶を申し上げたいと思います。
委員の皆様方には、本当に長い間、有田町と西有田町の合併に伴う調整項目を、熱心にご協議頂きまして、本当に、有り難うございました。
両町とも、五十年という、長い歴史の幕を閉じまして、これから、新しい町の、歴史のページが開かれるわけでございます。
将来を背負って立つ子ども達、そしてこれから生まれてくる子孫に、心から誇れるような合併になるように、現在、又、生きている私たちも、全員が、これまで以上に、協力し合って、素晴らしい町づくりを目指してまいりたいと思っております。
どうぞ、これからもご協力の程を、切にお願い申し上げまして、簡単ではございますけれども、私のご挨拶と致します。

本当に、有難うございました。

○議長（ 岩永 正太 ）

篠原町長さん、本当に有難うございました。

また、委員の皆さんにも長い間、本当にご苦勞さまでした。

これまでの、皆さん方の、いろんなご協力と、ご指導に対して、心から、お礼と感謝を申し上げたいというふうに思います。

どうぞ一つ、これからも、先ほど申し上げましたが、新しい有田町のために、皆さん方の力を貸して頂きたいと、いうふうに思います。

本日の会議を、これで閉じさせていただきます。

どうも、有難うございました。

閉 会 （ 15時25分 ）

上記顛末を証するため、下記に証明する。

平成 年 月 日

会議録署名委員

会議録署名委員
